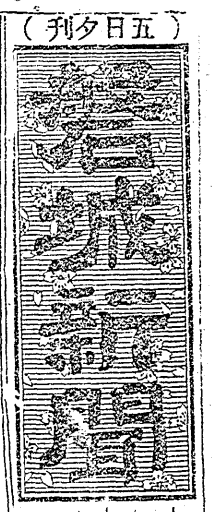
（五日夕刊）

休刊　毎月第一、第三日曜
定價　一ケ月六十錢　一部二錢　郵税十五錢
廣告料　並行六十錢　指定廿錢
發行兼編輯人　臨沼鶴雄
發行所　常陸新聞社
福島縣平町田町十六番地
電話五六四番



平の映畫界

甘いてつぽうだま

戰爭映畫のことども

漫筆　諸橋久男

僕はあの甘いてつぽうだまが嫌ひだ。

戰爭で父の近身が死んだ話を聞いてから、戰爭がとても恐ろしく思はれて、いつのまにか、あの甘いてつぽうだまから連想させるほどの鐵砲丸、大砲、戰爭が恐しく思はれまた嫌ひだつたので、甘いそのてつぽうだまもまでが大嫌ひになつてしまつた譯だ、この外に齲齒が有つて食べられなかつた事も加へられるかも知れない——？。

だから戰爭映畫はなほ大嫌ひだ、最近の樣に所謂、陸、海軍省の積極的「御援助」の下に、戰爭映畫の氾濫となつては增々大嫌ひ以上になつて來た。日露戰爭二十五週年記念とあつて、松竹の「進軍」日活の「殲滅」を初めマキノ「草に斬る」「常陸丸」東亞の「君が代」等々のしろものゝ外常キネ及外國の作品が上映されてきさ、戰爭映畫の戰爭だ!!

——何が戰爭映畫をこんなに多く作らせたか？。

それは「二十五週年記念」が二十六週年だらうがそう云ふ理由では決してないのだ。

その眞意は——多くの勞働者、農民が現在のいぢめられ通しの生活からたち上つて最も幸福な新しい社會を作りだそうと騷命になり出した爲に世界の資本主義者が帝國主義者とがあせり出してこの多くの勞働者農民の爲の國家建設の爲に努力しなければならない大衆を欺瞞して彼等自身の利益の爲に、きつと起つて來る第二の世界大戰に觀念させる樣にと今からその準備を固めてゐる惡辣な手段なのだ。

この戰爭は世界資本主義を鎖國し、觀察して、その求と緊密に融合してゐる帝國主義が着々その積極的な役割を演じつゝある此の樣な現在にあつて必然的に當面しなければならない戰爭の爲の諸々の準備に欺かれない樣にしなければならぬ。

——甘いてつぽうだまなのだから……。をはり

笑のない物を見せて儲からず。これを不景氣故と觀測する事は抑もの間違ひだ。

本邦作品にしたつて、こけ威かしに面觸ればかり凄くても、見て本當に一面白い」と云ふ映畫が、今日との位見當る？。

劍戟かもう受けないと氣が付いたのは、極めて最近ではないか、徹底的に世間から顧みられなくなる迄與行者や製作者がこの事に氣付かずに居たと云ふ事は、本邦映畫が昔の樣に大衆の支持を得なくなつた主因の一例である。

のはゝん氣分で、何かを映してゐれば客が來ると考へる事は過去に於て大衆一般の鑑賞知識を進歩させて置き乍ら、その進歩の程度に慮らぬ不注意不眞目さだけ餘りに呑氣過ぎる。

一舉にして儲ける爲の入場料金の高きは當然低下さるべしだ。

然しそれが不景氣故でなくて欲しい大勢の求むる處得まいが不景氣々分に盲從させられる筈はない。

不景氣と映畫

片野曉詩

不景氣、不春氣、今やこの人間的な不吉な世相を打ち破るべしと、巻き込まれるなどはもつての外の話だ。

どうも洋畫界は客が來ない、——これは現狀の儘ならば況時たつて來ない筈だ外國語で喋言通して肝腎の筋が判らなければ、金を佛閉ざされ些末の事迄心の苦となり日巽を北が壬が吉▲七赤　輕卒を戒め牛歩を

▲一白　そろ〳〵進め道々に人助けも加はり來る南

長が乾が吉▲二黑　油斷も隙ならぬ日毎に賣買は注意を要す坤と南と艮が吉▲三碧　苦慮するよりも識者に問ふが早くて且安全壬と坤と乾が吉▲四綠　内に和合あれば運氣整ひ順調に勢展すべし壬が坤と甲が吉▲五黃　心のみ急けども駒は進まず運氣復を待て坤と南と北が吉▲六白　陰氣に閉ざされ些末の事迄心の苦持つて來て下さいますわね

「えゝ、ですから、お清ちやんもおとなになるんですえ」

「えゝ、たよしも、もう泣くことが彼らにとつてせめてものの幸福なのだ」

「さうだ、行かう、默つて……寂しく」

心を決してかけ出せば。

「とゝちやーん」

と聲は上げて泣き叫ぶおよしの聲。

「たゝ、俺はどうすれば、よいのだッ！」

悶々の情が、めまぐるし心の中に廻轉します。

「すべてを捨てよ、すべてを忍べ!!」

かう心の一方が叫びます。

「いゝや、貴樣の心は鬼かわれ程、貴樣を待ち受けてゐるものたちの聲が聞ねないのか、歸れ歸つてせめてやさしい言葉の一言なりとかけてやれ」

また一方が叫ぶのです。

「行け、行け、會はずに行くことが彼らにとつてせめ

彦九郎の心はどんなだつたらう子供は泣いてゐる。妻も泣いてゐる、しかも子供も自分一人の歸りを、どんなにか樂しみにして待つてゐるか知れないのだ。しかも、自分はも早彼らの許に歸れない身なのだそれを知らないではない光の寂しさは、またどんなか。考へれば、この三十幾つの大の男は聲を放つて泣きたくもなります。すると、また長女のお清の聲が聞えます……。

「はゝんどうに、お母ちやん父さんはよい、たみやげを持つて來て下さいますわね」

「えゝ、たよしも、もう泣くのはたよし父さんがもう

盡き飯つて下つて下さいまらうからね」

「たゝ」

彦九郎は、やるせない斷腸の悲しみですわやふく聲を立てさうになるのを。

「お光、お清、ゆるしてくれ、わしは、お前達には顏が合されないのだ」

「何故です、それは何故です」

お光の幻は生きる姿は、怨ずるやうに云ひます泣きながら、わめきながら、……たゝ、その頰は涙にぬれて居ります。

「あゝ」

あやふく呼びかけようとして、

「ねいッ！ばかなッ！自分を忘れたか」

われから心を鬼にして、彦九郎は戶の隙間をはなれました。

蓋世の偉傑も、勤王の志士も、今はたゞ一魂の人間彦九郎でした、手枷足枷柳行李を背負つたよしもありません。

「行かう、行かう」

だが、すべてにまさる意志の力を彼はもつて居りました。決然から叫ぶと、跳躍するやうに日明の夜の闇へ自分の體を放り出しました。彼は滅茶苦茶にかけました。恐ろしいものゝ手から脫れでもするやうに悲しみからぬけ出さうとでもするかのやうに……。

からして、彼は、失意に失意の思ひをかさねながら亡命の旅に身を投じたのでした。

幕末奇談　高山彦九郎

講談

(180)　中西洋々作

市施長春畫

亡命の旅　(三)

廣告

上田醫院

夜診

胃腸　内科　十二指腸病　虫病

專門　内科部

梅毒　淋病　婦人病　皮膚病

專門　外科部

松村胃腸病科醫院

（平南町電話一〇七番）

療間

電話番號が變りました……

電話八六〇番

平町新田町

青柳

柳川

相始めました……

御一人前三十五錢

御贔屓の程願ひます

石川亭

平田町　電話四三

明日……舊六月新月

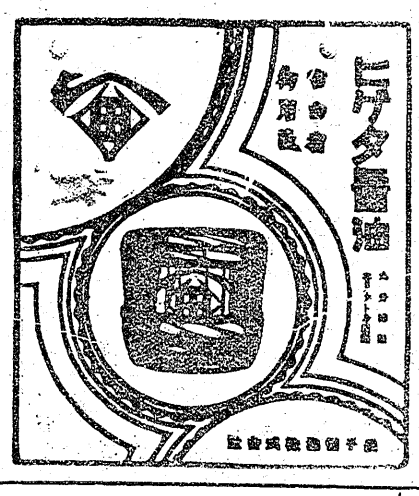
吉の凶……曆一十六日

生花教授

池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下れい。

平町五丁目十六番地

須藤まつの



平町田町

特約店　廣澤支店

電話五四番

新入學期と時計

時計は大谷

器械部戰線異狀なし

憂良なる器械で安く

殊に學生は元價提供

平三　大谷時計病院

電話十九番

三井吳服店

好評！好評!!大好評!!!

婦人倶樂部浴衣の二重福引付大賣出し

賣出期間　七月一日より七日間

大日本雄辯會講談社の懸賞金貳萬圓

東北持約店……三井吳服店にて賣出し期間中婦人倶樂部浴衣御買上の方に限り一反毎に懸引券を上

賞品　一等　婦人倶樂部浴衣一反　二等大　典　絞一反　三等白　地　反　物一反　四等化粧用ガーゼ手拭一本

——空籤ナシ——

夏物新安値品大賣出し

驚異的獨自の廉價☆白熱の七日間☆

是非々々御家族一同樣御知合の皆々樣御誘合せの上御來店御用命の程

特價品

◎モス着尺二圓九十錢　◎江戸中形一圓ヨリ

◎模樣本銘仙三圓八十錢　◎白　縞四十八錢

◎縞本銘仙三圓五十錢　◎手拭中形六十五錢

外かや類。中形類大提供

三井吳服店

酒銘　清世界

各炭鑛御用達　小野晋平

電話六番

石城小名濱港

開業廣告

今般共嶋社ヲ設立左ノ業務ヲ取扱ヘマスニ付御用命ヲ希上マス

命融、土地建物電話其他ノ仲介貸金ノ取立及賣掛代金整理

家出人ノ捜査婚姻其他ノ身本內偵

本社石城郡平町字十五丁目十三番地

共融社

主幹　青田保太

元平警察署刑事係部長

電話（呼出）八〇四番

スツボン酒　一圓

スツボンヘモクロビン錠　二圓

スツボン飴　一圓

平町五丁目角

山野邊藥局

耳鼻咽喉科專門

日本醫大醫學士院長　鈴木正男

齒科口腔外科

日本齒科醫學士　高橋正永

◎晝夜診療

下谷區入谷町二九一

入谷改正通り東交番前

鈴木醫院

平町田町

高久病院

電話五一三番

醫學士　高久忠

新潟醫學士　赤羽清

藥劑士　佐竹菊雄

內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

容易に水も飲めず
南町連の悲鳴
取締りが餘り嚴重で
續々廢業の悲運

平町南町裏の飲食店所謂銘酒屋が一日限り酌婦の店頭張店を禁ぜられた外屋門深く封じ込められ往來の客との談笑を全く遮られ營業者も本人も悲鳴を上げてゐる事は既報の如くであるが右の取締命令が餘りに過酷であることが發見され衛生上の問題は

勿論思想 上からの社會問題が持ち上らんとしてゐる、即ち屋内さながら箱詰の狀態にあるため夏期中の暑さは想像以上で堪へ難き有樣でこれを凌ぐ氷水など飲む結果となる然も酌婦の張店中の出歩きは違反だ問はれるので氷を飲みに行くにも一々營業者がつて行くか或は注文せねばならなくなる斯うして暑さの氏は出張して十六日これが烈しい夜などは頻りに氷を求めるため下痢を起す結果となる現に加療中のものが

一面私娼 の存置を認容して居りながら斯くまで飲食店いじめをするのであるかこれは明らかに弱者いじめであると營業者は寄り〳〵協議中であり町民も漸次これに同情して來たので近く何分の緩和策を縣に陳情することゝなるべく成行を注視きるゝに至つた

丸新館の奥座敷で
若い夫婦心中
遺書に金四圓を添へて
死後の處置を賴む

平町停車場前丸新館に宿泊中の自稱長野縣諏訪野郡平野村矢勝儀八(三六)同人の妻儀八、弓子(三三)が今五日午前六時の八時頃外出して十時近、奥座敷で苦惱してゐるのを女中が發見大驚ぎとなり市原病院に擔ぎ込み手當中であるが生命は危篤であと、弓子南名は昨四日夜の八時頃外出して十時近、歸宅したのであるが儀八は黑サージの背廣に鼠色のズボンを着し弓子は結髮で銘仙浴衣に取亂さぬ樣サルマタを付けて居た。持物は何も無いが

「私達の本籍は調べた處で解らないから止めて下さい、私達はこの世では晴れて夫婦になれぬから死んでもあの世で一緒になります金四圓を同封しまたから宿泊料其他を支拂つて下さい」

と言ふ意味の平署へ當て遺書があつたので合意の心中と判明した

放牧地整理
十六日上小川で

石城産馬畜産組合の借受に係る上小川村國有林二百七十五町二反五畝歩の馬産放牧限定地整理のため産馬畜産組合會聯合會拔手枝外二十六日上小川で開催し十六日これが

濱三郡村長
節約申合
缺食兒童救濟

濱三郡町村長會が十一日開かるゝに就きこれに先立ち石城郡では今五日午後一時より平町團体事務所樓上に町村長會を開き提出事項その他種々協議をなしたがなかんづく缺食兒童の救濟は急務中の急務であり之れ〳〵重要問題として愼重な協議を行ふ筈で非常に注目されてゐるが更に過般來町村の實狀とその筋の訓達等より諸節約緊縮實行の申合せをなしてゐる町村は極めて尠く依然旧態より脫し得ざる狀態にあり時あだかも中元贈答品の時期にあり然所これを廢止する要あるのでこれが嚴重なる決議をなし從つて向後冠婚葬祭に當つても申合せの主旨に充分從はせる樣更に具体策を講ずる筈で實際に危急の問題であり期待されてゐると共に成り行き注視されてゐる

腫れもの〻顏を
帝大に提供
石城共濟會活動

石城郡の共濟會方面委員はいて況の深刻化に伴ひ貧困者の救濟活動の一歩として漸く糊口を塗す位の收づ既報の如く缺食兒童の調査々行ひ更に今回同會北澤書記等の盡力によつて平町大工町居住泉鹿之助妻ゆき四才が顏面腫物で悲慘な狀態にあり醫療を受くる資力のない爲死を待つばかりのを東北帝大に

學用患者 として入院せしめた夫鹿之助は役者の體を製造するのであるが

石城の海
海水浴場便り

◇……四倉海岸 四倉驛から東へ十五町バスで十五錢、旅館は數軒一泊一圓八十錢から四圓位まで、又素人の家でいくらでも貸間をやつてゐるさういふ家が百二十軒もあるから約八百人收容できる間代は一室一ヶ月十五圓から三十圓まで

◇……遠淺で、波もいさゝかこの界隈きつての理想的海水浴場である、 いはゆる青松白砂、だローマ法城のドームのやうな鹽屋崎の發達が、夜になると砂の上に明滅する地曳網を見るのも面白い新舞子の濱はキャンプサイトとしてすぐれた地だ毎年町では二、三ケ所に脫衣場を設け番人をおいて、救助船や夜間のリフレクション、其他旅館、貸間の斡旋を親切にしてくれる

◇……小名濱海岸 平からバスでも行けるし湯本驛からも軌道で行ける、海水浴場は非常に廣く遠淺で人の出るのは各濱中一番だらう、こゝでは大敷網を目ることが出來るたまにデカイ鯨もひつかかる時もあるのだ、はぎれのいゝとびきり新鮮なカツオを○石城養鹽同業組合十日午前九時から團体事務所に評議員會を開き五年度豫算更正、組長選擧の件外數件を協議

海水浴場の
風紀取締
平署で勵行

海水浴場は近頃の暑さで浴客がぼつ〳〵入り込み賑つて來たので、警察部では、浴客の保安上より場の潮流の狀況又は水の深さ海底等の範圍は縣外から一名を輸入し更に縣内では校長の異動一名及教頭の拔擢一名都合三名の小範圍である

スポンヂ野球
組合せ決定

石城郡下のスポンヂ野球大會の組合せは四日大塚運動具店で抽籤の結果左の如く決定した

△二葉舍チーム、四倉クラブ△南町A組、浦井クラブ△勿來新人、南町B組△磐炭礦務、好球クラブ△八千代クラブ 遞友クラブ△湯本クラブ、磐炭運輸(以上)

平と日立
卓球試合
二十日常磐銀行で

オール平對オール日立の卓球試合は廿日午前十時より常磐銀行樓上で行なはれるがオール平の當日のメンバーは左の如し

常磐銀行の川角、鈴木、山森、大坪、七十七銀行の菅谷、稅務所の三浦、加澤

病人を毆る
怒つて告訴す

石城郡内郷村町西柳沼甚助(三六)は磐崎村藤原三井炭坑寄宿飯場頭掛札金七(三八)相手取り四日平署へ告訴を提起した理由は甚助は作業中の不注意から足を傷めて三井炭坑病院で靜養中でつたが四十日にも成のに癒り思わしくないので湯本町片岡醫院に入院したのを悉つて甚助を毆打したと云ふにあると

嘘「天神丸」
平署へ告訴

石城郡湯本町天王崎丸中新聞店宮川卯兵衛方にある三月中郡山市細沼町天神丸本舗契約係佐藤辰三郎と稱する男が再三來り同地方には

全然販賣するものなきにより特約店となつてくれと言ふ巧に契約金五圓を受取つて立去つたその後に至り天神丸は何處の藥店にもないので始めて詐欺に遭つた事が判り右の者に再三該金の返還を迫つたが何の返事もないと宮川は今回平署に告訴をなしたが同樣手段で各地を荒した形跡あると

肺病患者だから
齒の治療は出來ぬ
斷られた患者が怨つて
平署へ告訴提起

平町五丁目佐川定治(三三)は肺病の爲め豐間村回春院に於て入院靜養中であつたが二日虫齒、痛むので苦痛に耐い兼ね豐間村池部齒科醫院に付添人松本健二が同行して治療方を願つたところ池部齒科醫は肺病患者を扱つたのに消毒器の設備が無いからと言つて齒の治療を斷られたので松本は憤慨し醫は仁術ではないからと平署へ今五日池部を相手に告訴した

馬は一割安
川前でできのうから

石城郡川前の馬驟は四日初取引を行つたが初日に表わた成績は左の如きもので昨年に比し二割五分安であると

最高一二〇圓、最低二一圓 平均五七圓

主人の金を
誤魔化す
平署に捕わる

石城郡内郷村經茶右商植村勇次郎(四二)は昨年六月一日より平町三丁目佐々木喜代治事磐炭指定家具類販賣部時代マルミヤ商會方に店員として雇用中昨年九月より本年一月まで前後十回に渡り金百五十圓餘を月賦拂物購買貸渡し消費して居た事を平署に探知され文書僞造行使詐欺として目下取調中

磐中校長
十日頃に發表

石城、田村中學校の缺員補充並にこれに伴ふ縣内中學校長一部異動は文部省の

營利誘拐を常習の
情夫と別れたい
平署へ泣き込む

石城郡湯本町寶海人事周旋業石川八郎(四八)は茨城縣多賀郡磯原町大塚新之丞の二女ミツ(二〇)を巧みに誘拐し郡馬縣前橋市萱町料理店齋藤ひめ方より四百五十圓で売り渡し愛知縣豐橋市東田町貸座敷業渡邊峯太郎方より千五百圓を前借しミツを連れ逃げしめ平署に檢擧されわ事は既報したが五日午前九時平署へ泣き込んだ

會合と人

○平消防組 六日午後一時より新川鎭にたいして發火漁習を行ふ由

○久の濱鹽業取締支所 五日午後三時から平町各種團体事務所に管内の町村長を招き營鹽應急資金に

ついて協議をなしたさ

前九時から團体事務所に評議員會を開き五年度豫算更正、組長選擧の件外數件を協議

平署人事

△死亡

平町才槌小路四湯本町浅惣一酒井幸太郎(九)

平町南町七八茨城縣多賀郡松原松原町私山二一二七内山鑑之助 二六

平町銀治町六茨城縣那珂郡村松村九八後藤保之助(八〇)

御挨拶

拜啓時下酷暑相加はり候折柄益々御清穆の段奉賀上候

陳者弊目勵車部事毎々格別の御引立を蒙り著々新界に其の歩を進め得たる事は偏に各位の御同情の賜と御厚禮申上候就ては今回高恩に酬の度く舊車を改め壹九三〇年型新シボレー號貳臺を以て營業を刷新仕り一般乘合は勿論貸切に至るまで親切第一配車迅速を旨とし勉めて貴意に副ふ樣努力仕可候間何卒倍舊の御用令仰付被下度御願申上候

先は右御披露旁々御願迄申上候 敬具

昭和五年七月五日

平驛前(有聲座隣)

磐城タクシー

草野キミ

電話四五四番

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 市原三三男
皮膚病
平町田町本通
市原醫院
(入院隨時) 電話一一四番

平新川町十九
木村病院
電話一六四
産婦人科 院長 木村寅次郎
女醫 木村コウ
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科
藥局 東京藥學士 萩原駿二

内科、小兒科 入院應需
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平國五〇七番

父淨池院 告別式の際は御多忙中遠路態々御燒被成香下且御鄭重なる御香奠を賜り御厚情の段奉拜謝候並に乍略儀以紙上御厚禮迄如斯御座候

昭和五年七月五日

男 吉田喬二
吉田太通男
小澤章成
山崎亮

於平第一小學校
唱歌演奏會の所感 (四)

K 津保美

第二部午後零時半より開催されし演奏種目は左の如し

(一)齊唱那須與一は兒童教師共に釣合が取れて實分よく出來た。

(二)獨唱子守唄は活氣なり勿論子守唄には元氣あり過ぎては其の役目をなさぬが奥底に力强いイネルギーがなければ曲としては死んで了ふそれに伴奏が强過ぎ獨唱者がふらつき出したは憂念とする所なり。

(三)齊唱お月さんは歌ひ方として別に大した缺點まなかつたがあまりに体を振るのはどうだ事だらう左右に振るもの前後に振る者ときかに動かし又大きく動かすものあり各自勝手な方法に成るにもかゝはらず一つもリズムカルでない多分專門家の想像してやつたことか何も大した効はなすまいリズムを取るとしても体に自由とか自然とかをあたへるとして別な方法もあるだらう余り極端すぎてはみつともない。

(四)遊戯虹の橋は上出來だつた此ものとしても伴奏の要求を考へさせた。

(五)齊唱我が國兵士は高音が自由にはせなかつたがめフホルテーで唱謠せしむ部分もピアノで歌はせたのが缺點とする。

(六)齊唱深山の鶯は二拍子の曲に拘らず四拍子のタイムを打つて唱謠せしめたため平凡に成つたもつと早目に二拍子で歌はせしむべきだ。

(七)合唱姉妹は萬音部が貧弱だつたが良い方だらう

(八)齊唱水溜は調子外れで惜しかつた。

(九)遊戯父樣たそいは遊戯として良かつたがこれとても調子外れで惜しかつた尋一の男としてはこれ位はだらう別に申す事を止めて許すべきだらう。

(一〇)齊唱夏の山及黄金虫は平凡すぎて歌ひ方で聽衆の感動は少なかつた伴奏の要求なしたい。

(一一)獨唱げんげ草は調外れとなり伴奏者と獨唱者が勝手な進行をして居た事ときかに動かし又大きく動かすものあり各自勝手な方法に成るにもかゝはらず一つもリズムカルでない多分專門家の想像してやつたことか何も大した効はなすまいリズムを取るとしても体に自由とか自然とかをあたへるとして別な方法もあるだらう余り極端すぎてはみつともない。

(一二)齊唱千早城は發聲良く。

(一三)齊唱大盤小盤は滑稽唱歌として採り入れたら面白く。

(一四)合唱皇國の榮はなかつたが大ハーモニとしての美が失はれて居た。

(一五)齊唱海高音の發音が思はしくない發聲法が一致してゐない性だらう。

(一六)遊戯もしもめだかの振りを見歌を聽かせられた時に蓋石の大人も童も呼び起され自由に開放された子供の世界に遊ぶ事が出來た本當に聽樂を陶垂せたのは遊戯の中で之れ以外には出なかつた樣だ。

(續〜)